



## 「割れ窓理論」

校長 嶋田 一郎

先日、毎日新聞に「割れ窓理論」のことが書かれていた。「割れ窓理論」とは、窓ガラスを割れた状態のまま放置していると、人々の反社会的行動を誘発するという理論である。オランダのフローニンゲン大学の研究チームは、街なかの駐輪場で、この理論について実験を行った。その内容は、落書きのある駐輪場と落書きのない駐輪場に「ゴミのポイ捨て禁止」という掲示板を設置して実験を行うというものだった。結果は、落書きのある駐輪場では69%、落書きのない駐輪場では31%の人が、ゴミをポイ捨てするということになった。また、買い物カートが何台か放置されたスーパーの駐車場は、カートが片付いた駐車場よりも倍近いポイ捨てがあった。

なにか一つでも治安の乱れ(この実験では落書き)があれば、他のちょっとした犯罪(この場合「ゴミのポイ捨て」)が誘発されてしまうという「割れ窓理論」の正しさが証明されたのである。

ところで、本校ではどうだろうか。教室や廊下、トイレ等はずっときれいにしているだろうか。4月には入学式があり、新入生が入学してくる。1・2年生は、校内美化に取り組んで欲しい。「割れ窓理論」で証明されているように、環境美化に心がけ、校内をきれいにすることで、「明るく、楽しく、活気あふれる学校づくり」ができると思う。皆さんの協力を願う。

## 表彰式・卒業記念品贈呈式・翔励会入会式

2月23日(木)、「平成28年度表彰式」及び「卒業記念品贈呈式」を挙行了しました。

内部表彰では、優等賞5名、功労賞7名(男子バレー部)、技能賞2名、皆勤賞17名(6か年皆勤3名、3か年皆勤14名)が表彰されました。また、外部表彰では、計9名が表彰されました。

「卒業記念品贈呈式」では、3年生代表の青野莉帆さん(機械科)から、体育の授業・部活動用に「製氷機」の目録が校長先生に手渡されました。

午後からは、第49期同窓会「翔励会」入会式が行われ、井手義則会長(第1回生)から激励のことばをいただきました。続いて、鳥嶋高行幹事長(第16回生)から第49期幹事代表の青野莉帆さんに任命状と記念品が手渡され、各クラスの幹事12名が任命されるとともに、卒業生150名が同窓会に入会しました。

「翔励会」の会員数は総計11,111名になりました。



## 平成28年度卒業証書授与式(普8回、商49回、工41回)

2月24日(金)、普通科第8回、商業科第49回、工業科41回卒業証書授与式を挙行了しました。西海讃歌をBGMに堂々と入場する生徒たちの姿、また、卒業証書授与では各クラス担任の呼名に大きく元気な声で返事をし、胸を張って立ち上がる生徒たちの姿が印象に残りました。

校長式辞では、人として「思いやる心」を育てることが今後の社会生活で大切だと教えていただきました。

また、在校生送辞では生徒会長の丸田謙人君が、今まで色々なことを教えてくれ、憧れだった先輩たちへの感謝の気持ちと、自分たちがこれからの佐実の発展に努めていくという決意を込めた送辞を贈りました。それに応え、前生徒会長の青野莉帆さんが3年間の学校生活を振り返り、仲間と協力して成功させた体育祭や文化祭、特に、韓国の姉妹校釜山電子工業高等学校との国際交流では言葉の壁を超えた友情を育むことができ、一生忘れられない思い出ができたことと述べました。最後に、自分たちを見守り、支えてくれた家族への感謝の気持ちを述べ、「卒業後、最初の親孝行は、社会人として持てる力の全てを出し切り、努力する私たちの姿を見せることです」と結び、心に残る答辞でした。

合計、150名の卒業生たちがこれからの社会で、ひとつでも多く「佐実」で学んだことを活かし、大きく羽ばたいてくれることを信じています。



Graduation



## 進路状況からー 早期の取り組み、基礎学力がカギ

今年度の3年生の進路状況は、就職内定率100%を達成できました。進学では卒業後に決定する生徒がおり、現在、97%になっています。

さて、在校生のキャリア教育として、3月7日(火)に2年生の職場見学会、1・2年生を対象とした進路ガイダンスを3月14日(火)に実施します。

また、2年生は、次年度、進路希望別に選択類型の授業を行います。進路決定には、早期からの準備と家庭での話し合い、基礎学力の向上が欠かせません。本人・学校・家庭が一丸となって取り組みましょう。進路は自分ごとです。